

うらめしやの世界にとびこんだ！

～らいおん組がとびこんだ絵本からの遊びの事例～

うらめしやの人気投票！

数日前、春からみんながよく読んでいた「うらめしや」の絵本をコピーしてクラスに貼っておきました。すると、「えー！！うらめしやじゃん！」「くっしょんさんいるー！」「かわいい！！」「じゅうたんさんが好き！」と大盛り上がり。そこで、「じゃあ人気投票でもしてみる？」と聞いてみると、「したい！」と満場一致で人気投票をすることになりました。投票の結果は以下の写真の通りに。「投票してみたけどこれからどうする？」と聞かれた子どもたちは、「え！うらめしや作りたい！」「くっしょんさん作りたい！」「らいおん組のうらめしやだ！」「去年のらいおんさんみたいにつくりたい！」とうらめしやを作りたいという意見がたくさんでできました。「去年のももちゃんみたいにできるのかな？」「楽しみすぎるー！」とうらめしや作りをとっても楽しみにしていました。

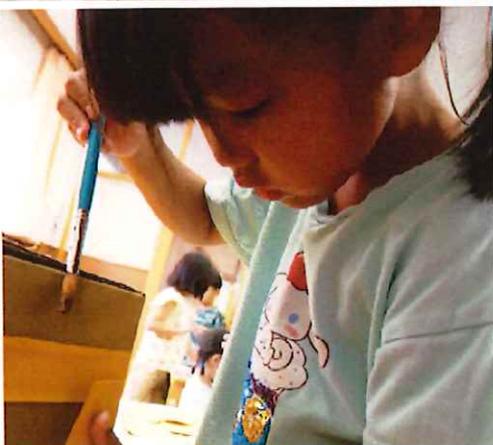
うらめしやのお客さんをつくろう！

さっそく、うらめしや作りがはじまりました。「チームに分かれて好きなキャラを作っていこう！」という意見に「そうしよう！」と話がまとまり作業に入りました。

しっかり押さえておく
ね！貼って！！



段ボールの色が見えない
ようにこうやって貼
ろうかな？



友達とも「ここに色が足りないからもっとちょうだい!」「段ボールが浮いてきちゃうからどうする?」「テープもうちょっと貼る?」と相談しながら進めていました。段ボールに画用紙を貼り終わると、「目と口つけよう!」「手もほしいよね!」と顔や手足を作っていました。絵本と見比べながら、「この場面の目にする?」「こっちの目のほうが可愛くない?」と目の形にもこだわりそれぞれのうらめしや食堂のお客さんができあがりしました!



こんな感じ?
 小さいかな? 大きいほうがいいんじゃない!
 目の形こんなかんじかな?
 耳は丸くてとんがってるから...!!
 人気投票はこんな感じになりました!

うらめしや
 にんきとうひょう!!

1	くっしょんさん	8ひょう	9:30
2	じゅうたんさん	5ひょう	10:20
3	おもちゃば"んさん たいしやう	4ひょう 4ひょう	11:10 12:00
4	ていしやけ-すきん	3ひょう	1:30



子ども会議で話し合ってみた!

クッションさんやおもちゃ箱さんなど、思い思いのうらめしやのお客さんを作った数日後、話し合いをしました。どこにうらめしやを作るのかという話の中で、ホールでやりたいという意見がでてきていたので、「ホール借りられることになったけどどうする?」と話し合いをはじめてみました。すると、「え!ホール使えるの!?!」「去年のらいおんさんみたいにやりたい!」「ももちゃんの世界みたいにうらめしやの世界にしたい!」という意見がたくさんでてきました。それならばと、ホールでどのように作っていくのか、道は作るのか作らないのか、など様々な議題で話し合いました。(以下に会議の会議録としてその会話を載せます)そして、最後にこれから何を作っていくのかの話し合いをし、まずはまだ作れていないキャラクターを作ろう!と話がまとまっていた。

子ども会議の会議録!

保育者:「ホールをかりられるみたいだけど、どんな風に作っていく?」
 子どもたち:「去年のらいおんさんみたいに作りたい!」「ももちゃんの世界みたいにうらめしやの世界にしたい!」

保育者：「そしたら、去年のらいおんさんみたいに道を作って歩けるようにするのか、道にもいろんな道があるし、そもそも道なくてもいいと思うけど、どうしようね。」

子どもたち：「道ほしい！」「なくても良いよ！」「真ん中の道にしたい！」

保育者：「じゃあまず、道を作るのか、作らないのか、話し合おう！」

議題：道を作るか作らないか

道を作る意見

「どこを歩けばいいか分からなくなるから、道はあったほうがいいと思う。」

「小さい子が見やすいように道はあった方がいいと思う。」

道を作らない意見

「1歳の子とかは触ったりしちゃうと思うから、道はない方がいいと思う。」

→「それなら台を高くしたらいいんじゃない!？」

→「たしかに！高くするなら道あってもいいね！」「道作ろう！」

道を作ることで話がまとまりました。

議題：道の種類はどうするか

保育者：「道を後ろに置く方法、道を真ん中に置く方法、道を前の方に置く方法と三つパターンがあるかな？」

(ホワイトボードに絵を描いて問いかけました)

子どもたち：「そうだね、どれがいいかな？」

道前の意見

「入口が分かりやすく迷子にならないよ！」

道真ん中の意見

「真ん中の方がたくさん見るところがあって、お客さんがたくさん中に入ることができるよ。」

「入口をトンネルにして、人間の世界とうらめしやの世界にしたいから、道真ん中にしたい！」

「真ん中は右も左も見ることが出来るからいいよ！」

道後ろの意見

「触られないようにしたいから！」

「真ん中だと右も左も触れて壊されちゃうかもしれない。」

→色々な意見を聞いて、「うらめしやはお客さんいっぱいだから、お客さんがたくさん来れるように道真ん中にしよう！」と話がまとまった。

話に一区切りが着いたかな？とっていると、以下のような話の展開になっていきました。

子どもたち：「でも私たちもへい！らっしゃい！したい！」「大将になりたい！」

保育者：「じゃあみんなも大将や女将さんになってお店に立つ？」

子どもたち：「いいねー！」「そうしたい！」「じゃあ服作ろうよ！」

議題：大将と女将さんの服はどうするのか

「お楽しみ会みたいに洋服を作って着る！」

「段ボールでお面作るの？」

「ビニールで洋服つくろうよ！」

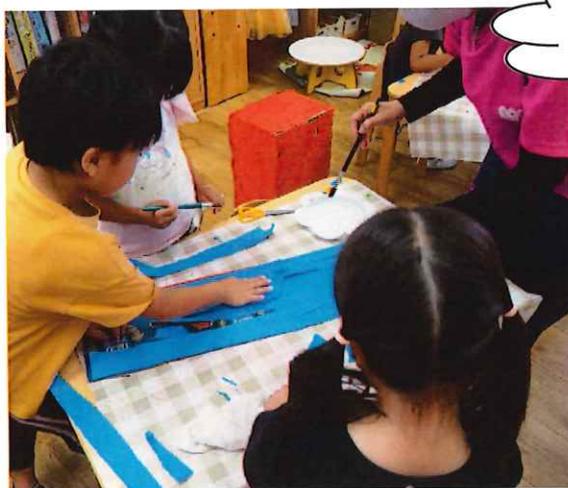
→自分たちでも手軽にできるもので、ビニールで服を作ることで話がまとまりました。

子ども会議を経た次の日！

子どもたちからまだ作りたい！と出てきた、大将・女将さん・本棚さん・リモコンさん・冷蔵庫さん・花瓶さんの6つのグループに分かれて、作業が始まっていきました。



前回と作り方が同じだったこともあり、「紙。小さくしすぎたらだめだよ！」「ここに足りないから貼ろう！」「目ちっちゃいかな！？」とスムーズに作業が進んでいっていました。「歯をもっと小さくしたい！」「黒目は上の方だよ！」とこだわりながら、「すっごく可愛くなった！」「どうしよう！可愛すぎる！」といいこいこする様子もありました。まだまだ続いていくうらめしやの世界づくり、どうなっていくのか保育者も楽しみにしています。



目の上に眉毛があるから…

自分たちもうらめしやの世界に入りたい！

「自分たちもうらめしやの世界に入りたい！」「へい！らっしゃい！って言いたい！」という思いがうらめしやの活動をするたびに出てきており、子ども会議でも話がまとまっていたので、さっそくこの日、洋服作りがはじまりました。二人一組になって、一人では難しい洋服作りに挑戦し、「大将がいいから青にしよう！」「大将は白のほうがいいかな？」「ここ押さえておいて！」「まって！ここ持ってあげるから！そのほうが切りやすいよ！」と二人で試行錯誤しながら洋服を作っていました。女将さんになりたいか、大将になりたいか、色も白がいいか、青がいいか、赤がいいか、自分たちで選んでの挑戦で、真剣な表情で進めていました。

三日月の形に線を引いて、その線を切る作業は、襟がズレたり、ビニールが切りづらかったりと、少し手伝わないとなかなか難しいかもしれないと思っていた保育者の思いを超えて、子どもたち同士で相談して、押さえたり、支えたり、協力して進めていました。二人組で一人が完成するとその服を着て、もう一人の子の洋服作りを手伝ったり、二人とも完成すると「できたー!」「写真撮って!」ととても嬉しそうに見せてくれていました。



ありがとう!

女将さんになってきた!

下の方押さえておいてあげるからね!!



ホールでの準備が始まった!

ついに、ホールを使ってうらめしやの世界を作りがはじまりました。事前の話し合いで、リモコンさんチーム、

れいぞうこさんチーム、トンネルチーム、のれんチーム、大将チームが必要だ！となっていたので、それぞれのチームで着々と作業が進んでいきました。「リモコンさんの体は小さいんだよ！」「黒い丸と三角が必要だから…僕が描くから切って！」「わかった！ハサミもってくる！」「のれんの文字は白で太いね…！」「字太く書いていこう！」「そうしよう！」「めが難しいな…！」「どうやって書く？」「普通に“め”って書いて囲んでいったらいいよ！」「大将の体作りたかったのに、箱乗せたら首になっちゃった！」「これは首だね笑！」「体にしたいからダンボール取って来よう！」「トンネルは大人でも通れるようにしよう！」「ダンボール一つじゃだめだ！二個いるよ！」「もってくる！」、とそれぞれのチームが相談しながら試行錯誤していました。



手ってどうやってつけて
いこうかな？

大将の体をつくりたいん
だ……！真剣な作業中！



メニューは何色かな？形
は二種類あるよね？

出口埋めるために
がんばろう！！





書いた方を裏側にして貼ろうと思ったら、文字だと裏側にできないよ！どうしよう！

消しゴムで消そう！！

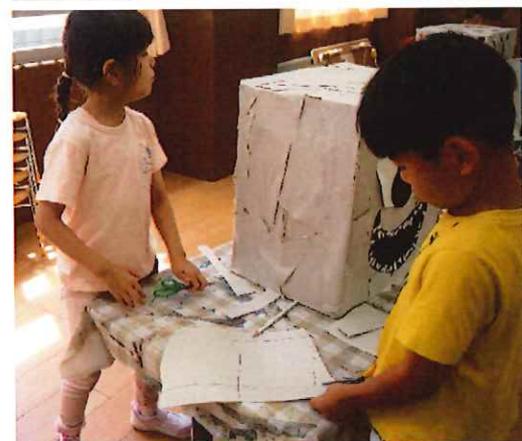
完成したー！！



リモコンさん、体が小さいから立たなかったけど…！テープでとめたら立ったー！！いえーい！！



トンネルは、小さいとお母さんたち通れないから段ボールをつなげよう！！まずは段ボールを切って、貼っていこう！



最後の仕上げ！

二日目！今日は、朝から自分たちがつけるお面を作り、もののけたちの設置に、のれんの設置、完成していないもののけの顔をつけて、メニューも設置しました。もののけたちは、「最初はリモコンさんだよ！」「じゃあ次はクッションさんだよ！」「それで次は…おもちゃ箱さんね！」と絵本に登場する順番で置いていけられました。



のれんの設置は、園長先生に助けてもらい、「ここ持って、糸通すよ！」「のれんどれくらいの位置がいいかな？」「それだと曲がってる！」「もっと左が上だよ！」と自分たちでできるところはやって、「入口のトンネル入ってきたところがいいよ！」と入口入ってすぐにのれんを設置できました。



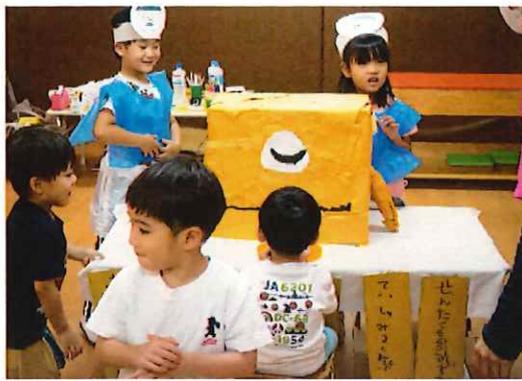
メニューは机の前に見えるように貼っていこう！と黙々とした作業が進んでいました。「茶色のメニューと黄色のメニューは別々に貼ろう！」「そうしよう！」「え！足りないかも！」「追加で書こう！」とテーブルいっぱいのメニューができあがりました。



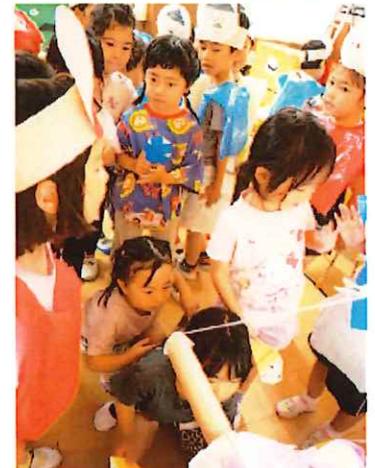
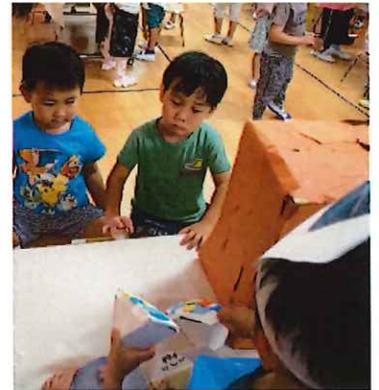
うらめしや食堂、開店～！

そして、うさぎ組さんを迎えるために着替えて、それぞれの場所について準備万端で待ちました。うさぎ組さんがトンネルを通して入ってくると、「へい！！！！らっしゃい！！！！」「へい！！！！！！らっしゃい！！！！」の声で溢れました。「これはなに？」と聞かれると「でんち寿司です！食べますか？」と答えたり、「今日はアイス無料です！」と声を掛けたり、うらめしや食堂の大将と女将さんになりきって、お客さんを迎えていました。





きりん組さんも「へい!!!らっしゃい!」で迎え入れると「すごーい!」「うらめしやだ!」「ご飯食べて周ろう!」と大興奮で各テーブルを回ってくれるきりん組さん。「すごいすごい!!!」「うらめしやに来ちゃった!」と長い時間、楽しそうにやり取りをしていました。



午後にはりす組さん、あひる組さん、ひよこ組さんも来てくれ、大盛況のうらめしやでした!



へい!らっしゃい!

とっても楽しかった〜〜!!

まいど!今日の営業はおしまいです!またきてね〜!!

「うらめしや」の世界を振り返る

“本物らしさ”にこだわったうらめしやの世界がどんどん出来上がっていく過程は、うらめしやをどんどん現実の世界のものへと作り変えるものだったように思います。「れいぞうこさんの後ろには黒の線があるよ!」「このページでわかる!」と立体になるうらめしやのお客さんたちを様々なページから、ここはどうなっているかを見つけ出し、精密につくっていました。うらめしやで出てくる料理も、「これ、クリームとイチゴがあるからペンで塗ろう!」「麺もつくらないとだよ!」と本物らしさを追求していました。

それぞれのお客さんや料理、お店の内装など“本物らしさ”を追求した子どもたちは、次第に自分たちも世界の中に入りたくなっていきました。「大将と女将さんになりたい!」という気持ちが湧き出て来たことで、世界への没入感は増していったように思います。その発想は保育者にはなかったものであり、子どもたちのいいこと思いついた!がこの活動をより面白くしていってくれました。うらめしやの世界をつくるだけでなく、うらめしやの世界の住人になれた子どもたちは真剣に楽しそうに接客をしていました。

平面で描かれる絵本の世界を立体にしていく過程で、特に今年のらいおん組は“本物らしさ”に面白みを感じていました。それは、本来5歳児らしい姿であるともいえますが、その言葉に集約させたくない、このクラスだったからこそその思いの形のなりようだったように思います。“本物らしさ”を追究したい!だってそれが面白いじゃん!という子どもたちの姿に後押しをされ、保育者も共に悩みながら世界に入り込み、一緒にうらめしやの世界を旅しました。らいおん組とともにうらめしやの世界を旅できたこと幸せだったと振り返ります。